

「まち」と「交通」を 未来志向 で アップデート

～4者連携で北九州モノレール沿線のまちづくりを始動！～



—— 社会課題を、超えていく。——



まちに、夢を描こう。



北九州市のシンボル モノレール

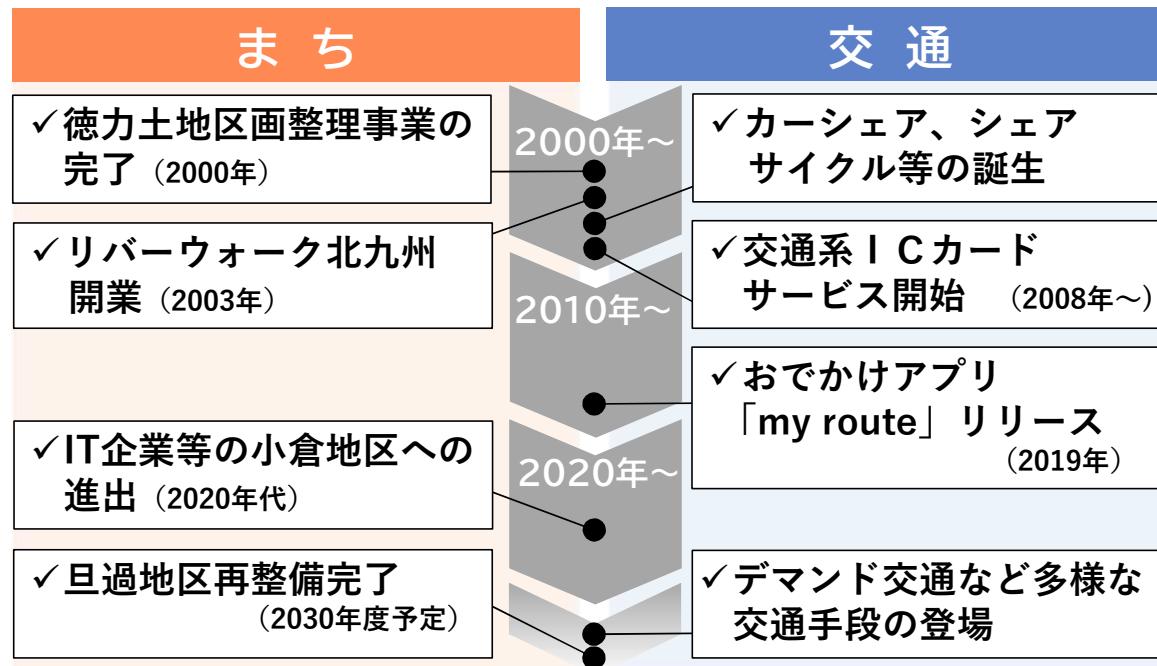


「銀河鉄道999」号出発記念写真展最優秀賞受賞作品（奥村 真琴様撮影）

モノレール沿線の発展



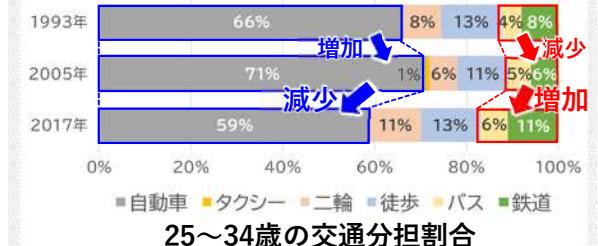
モノレール沿線の発展



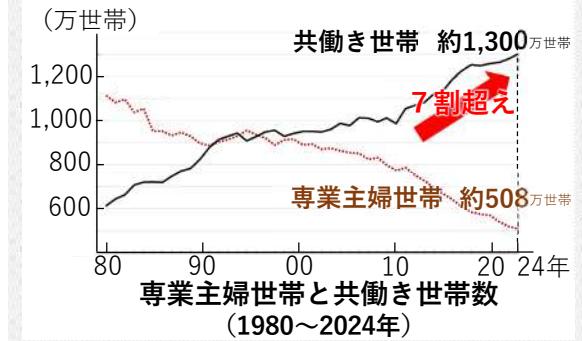
忙しい共働き世帯や住まいの近くで働く人の増加
公共交通をよく利用する若い世代の増加

暮らす場所として
生活と交通の利便性を重視するニーズ

● 若者の公共交通分担割合が増加に転じる (2000年以降)



● 共働き世帯の増加 (2010年以降)



総務省統計局「労働力調査特別調査」、総務省統計局「労働力調査(詳細集計)」を基に作成

● テレワークの普及や多様な働き方・住まい方の広まり (2020年以降)

モノレール沿線のまちづくり

まち

- ✓ 現在の生活様式及びニーズに合った魅力と特徴のある新たな機能の集積

交通

- ✓ 拠点性とまちの特徴を活かした公共交通の再構築



- モノレール沿線の魅力向上
- まちと交通が連携する成功事例

——社会課題を、超えていく。——

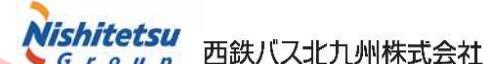


- 全国で多くの都市再生の実績
- モノレール沿線に多くの賃貸住宅



- 定時性・速達性に優れる大量輸送機関

まちに、夢を描こう。



- ニーズに合ったきめ細かな輸送機関

次の時代を担う若い人たちに選ばれる
未来を見据えたまちづくりを目指す



徳力公園前駅周辺 に着目

守恒
徳力公園前
徳力嵐山口
志井

徳力公団前駅周辺からモノレール沿線の 価値を向上

まち

大規模団地が存在しており、モノレール駅のなかで
比較的駅勢圏に人口が多い
→機能集積による効果が期待できる

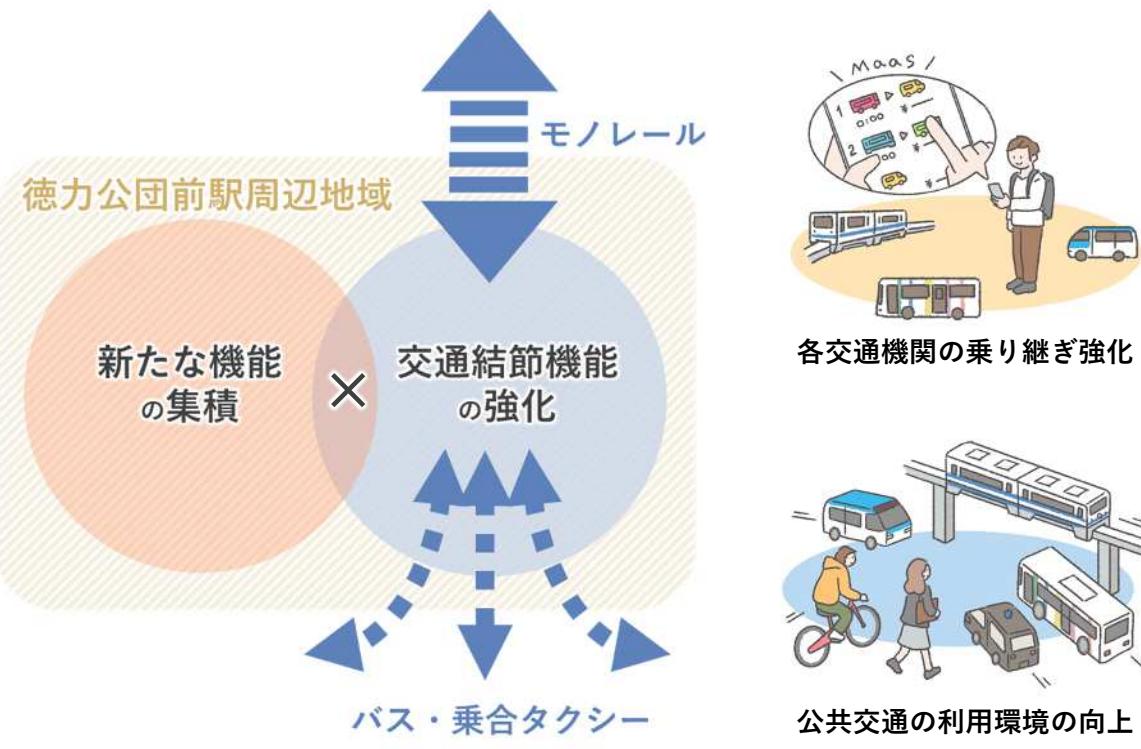
交通

小倉駅から一定の距離があり、東西南方面からの
路線バスがモノレール駅にアクセスしやすい
→郊外部の交通拠点とすることで、
公共交通再構築による効果が期待できる

高いポテンシャルを活かして、
現代・未来のライフスタイルに合った 地域拠点の形成



まちづくりのイメージ



「まち」と「交通」を 未来志向 で アップデート